

JICA協力隊  
理科教育隊員  
金田将裕先生



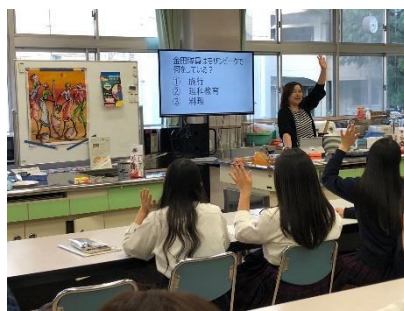
JICA海外協力隊

# アフリカ モザンビーク

## 第2回オンライン2023秋

10月18日(水)放課後、第2回アフリカモザンビークオンライン交流を行い、1~3年の希望者19名が参加しました。今回のオンラインのテーマは、ずばり「食」。前回、7月のオンライン交流の時に聞いた主食の「シマ」が気になって仕方がない生徒の声にお答えして、夏休みのモザンビーク研修で手に入れた「シマの粉」を使って、モザンビークで活動中の金田先生とオンラインでつながり、作り方を教えてもらいました。

まずは、前回のオンライン交流の復習も兼ねて、「モザンビーククイズ」。モザンビークの場所、国旗、歴史など、きちんと覚えていてくれました。そして、いよいよ金田先生の登場です。



7月に一度オンラインで交流した生徒は、ひさしぶりの再会を喜んでいました。簡単に自己紹介していただいた後、いよいよ、「シマ」づくりに挑戦します。動画も準備してくださったので、現地の方の作り方も見ることができ「シマ」づくりのイメージも完璧です。子どもの登場には歓声が上がっていました。



鍋を2つに分けて、シマづくりをしました。画面越しに、鍋の様子も見てくださり、粉の量や練り加減もアドバイスしてくださったので、とても上手にできました。

チキンのトマト煮と合わせていただきました。

はじめて食べた「シマ」のお味は・・・おいしい！！と大変好評！ 全て完食！足りないくらいでした。



時間の都合もあり、「シマ」を試食しながら、金田隊員のお話を伺いました。モザンビーク島や南アフリカへの旅行のお話にも、生徒達は目を輝かせて聞き入っていました。

最後に、質問コーナー。生徒から、たくさんの質問がでて、時間を延長して答えてくださいました。

モザンビークのカプラナ(アフリカ布)の体験も行いました。今回も大満足のオンライン交流ができました。一7時間の時差にもかかわらず、快く対応してくださった金田隊員に感謝です。日本で会えるのを楽しみにしています。



## (生徒の感想)一部

・夏にもオンライン交流に参加し、少し知識はあると思っていたが、まだまだ知らないことがたくさんあったし、気になっていたシマを実際に作り、食べることができて貴重な体験だった。モザンビークではもっと固いシマを食べているそうだ。小さい鍋で作るだけでも大変だった。力がとても必要なことを実感できた。私たちは、動物の肉を食べているけど、食べられる状態のものしか見たことがないが、金田先生が自分で鶏をさばっていることに驚いた。考えてみればあたりまえのことだが、私たちはきれいな部分しか見ていない。私たちは食べるときに、いただく命に感謝しなければならぬと感じた。(3年)

・シマ(白とうもろこしの粉にお湯を入れて混ぜたもの)が主食で気になっていました。ざらざらしたお餅のような感じでした。チキンのトマト煮もとてもおいしかったです。シマだけだと無味でしたが、チキンのトマト煮と一緒に食べたらとてもおいしかったです。モザンビークの人々は、音楽が流れていたら踊り出すということを知り、とても楽しそうだなと思いました。モザンビークをもっと知りたくなったので、ぜひ行ってみたいです。(2年)

・今回のオンラインを通して、モザンビークに関する新たな知識がたくさん増えました。南アフリカケープタウンという町では、テーブルマウンテンという山があること、お金持ちの人たちが集まって、お正月を迎えたりすることにも驚きました。他にも、モザンビークにも有名な世界遺産があり、魅力たくさんのアフリカにとっても行きたくくなりました。シマは、白とうもろこしの粉を使って、おいシマをしながら好みの硬さにしていることを知りました。実際に混ぜてみて、私には力が足りないの、混ぜるだけでも苦労しそうです笑。私も、将来 JICA の協力隊員を目指しているので、アフリカの状況を知り、ますます海外で現地の人と過ごしてみたいと思いました。アフリカに行ったら、一緒にダンスをしたいです!!(2年)

・モザンビークの主食であるシマの作り方が詳しくわかり、現地の子供たちの遊びにも興味をもった。シマはかき混ぜる力やスピードによって食感や甘味が大きく変化するところが面白かった。(1年)

・まずシマについて。だんだん白とうもろこしの粉を入れていくにつれて固くなっていくので混ぜるのが大変でした。でもお湯と粉があればできるのでとても簡単だと思いました。食べた時の感想は、食感はちょっとザラザラしていて日本では味わえない不思議な食感でした。トマト煮と合わせると美味しかったです。そのまま食べてもお米より少し甘みがあって美味しかったです。中学三年生から気になっていたものなので食べることができて貴重な体験でした。モザンビークについてはアフリカとはわかっていただけ詳しいことについては全然知らなかったのが世界遺産について、日常的なことについて知る事ができたので良かったです。モザンビークの方はダンスが好きということやみんなサッカーが好きということを知れて私も現地に行ってダンスしたいと思いました。そしてモザンビークについて、もっとみんなに知ってもらいたいと思いました。今回はお話・シマ試食などとても楽しい時間でした。(1年)

日本とは異なる文化に触れることで、世界を見る目も変わりますね。2回にわたるオンライン交流で、モザンビークが大好きになった生徒が多かったです。アフリカについて、あまりよく知らない生徒も、今回のモザンビークオンライン交流をきっかけに、興味を持ってくれると嬉しいです。そして、いろいろな人が住むこの世界の様々な課題を「自分ごと」として考えて、みんなが幸せに暮らせる社会(Well-Being)のために、自分たちができることを考え、行動できる人になってほしいと思います。

お忙しい中、さまざまな準備、そして、生徒の質問に丁寧に対応くださった金田隊員に深く感謝いたします。



★夏に生徒が作ったアクリルたわしは、モザンビーク理科教育隊員の木村先生を通じてモザンビークの人に渡していただきました。喜んでいただけただよかったです。協力してくださった木村隊員、ありがとうございました！